

新年あけましておめでとうございます。

2026年の年頭にあたり、オーガンテックの事業活動にご理解とご支援を賜っているすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。

私たちオーガンテックはこれまで、先端的な技術を単なる研究成果にとどめることなく、社会に提供可能な事業として成立させることを一貫した方針として歩んでまいりました。その中で、昨年は特にバイオハイブリッドトゥース(Bio-hybrid Tooth)の歯科分野において、事業化に向けた大きな進展を得ることができました。

現在、バイオハイブリッドトゥースは、認可取得および特定臨床試験を視野に入れた実行フェーズに入りつつあります。これは単なる技術的節目ではなく、市場性・制度適合性・供給体制といった、事業として成立するための要件が具体的に検証される段階に入ったことを意味します。2026年は、このプロセスを着実に前進させ、将来の事業収益につながる道筋を明確にする年となります。

一方で、オーガンテックの経営は、単一プロジェクトに依存する構造ではありません。私たちは、他社の研究・開発を支える細胞培養技術や人工皮膚といった研究支援事業を継続的に展開し、安定した収益基盤を構築してきました。これらの事業は、先端研究の現場から高い評価を受けると同時に、当社にとっては技術力の蓄積とキャッシュフローの安定を両立させる重要な柱となっています。

この「安定した基盤事業」と「高成長を目指すコアプロジェクト」を併せ持つ経営構造こそが、オーガンテックの強みです。短期的な成果と中長期的な成長のバランスを取りながら、投資効率と事業リスクを適切に管理することで、持続的な企業価値の向上を目指しています。

2026年は、オーガンテックにとって研究開発型企業から、事業創出型企業へと明確に進化する一年です。バイオハイブリッドトゥースを軸に、新たな市場を切り拓く挑戦を進めると同時に、既存事業の深化によって経営の安定性をさらに高めてまいります。

本年も、長期的な視点から当社の挑戦をご理解いただき、変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2026年 元旦
株式会社オーガンテック
代表取締役社長 下 義生

